

(別紙)

農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況(平成27年度～令和元年度)

1. 人に対する事故

(原因別)

(単位:件(人))

区分	年度		H27	H28	H29	H30	R1			
①マスク、メガネ、服装等の装備が不十分	4	(4)	3	(3)	6	(6)	6	(7)	3	(3)
②強風中や風下での散布等、自らの不注意により本人が暴露	2	(3)	2	(2)	1	(1)	1	(1)	1	(1)
③長時間や高温時の作業、不健康状態での散布	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
④防除器具の故障、操作ミス、整備不良等による農薬のドリフトや流出	0	(0)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	0	(0)
⑤ドリフト防止対策の未実施等による農薬のドリフトや流出	1	(7)	1	(1)	2	(8)	1	(1)	0	(0)
⑥被覆が不十分であった等、農薬使用後の作業管理の不良	3	(20)	3	(7)	1	(7)	4	(14)	5	(17)
⑦保管管理不良等による誤飲誤食	11	(11)	7	(7)	6	(11)	3	(3)	2	(2)
⑧運搬中における容器の転落・転倒等の容器破損	1	(3)	0	(0)	0	(0)	1	(5)	0	(0)
⑨その他	1	(12)	1	(1)	2	(2)	2	(4)	0	(0)
⑩原因不明	5	(5)	2	(2)	2	(2)	7	(7)	0	(0)
計	28	(65)	19	(23)	21	(38)	25	(42)	11	(23)

(単位:件(人))

区分	年度		H27	H28	H29	H30	R1			
死	農薬の使用	1	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	
	誤用	3	(3)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	
	その他・原因不明	3	(3)	0	(0)	0	(0)	4	(4)	
亡	小計	7	(7)	0	(0)	1	(1)	4	(4)	
	中	10	(33)	9	(13)	11	(23)	12	(23)	
毒	農薬の使用	9	(11)	7	(7)	5	(10)	4	(8)	
	誤用	3	(14)	3	(3)	4	(4)	5	(7)	
	その他・原因不明	22	(58)	19	(23)	20	(37)	21	(38)	
計	28	(65)	19	(23)	21	(38)	25	(42)	11	(23)

- (注) ・集計した事故には、自他殺は含まない。
 ・区分欄の「農薬の使用」は、上記①～⑥が該当。
 ・区分欄の「誤用」は、上記⑦～⑧が該当。
 ・平成27年度は死亡と中毒の件数に重複がある。

2. 農作物、家畜(蜜蜂を除く)及び水産動植物等に対する被害

(単位:件)

被害対象	年度		H27	H28	H29	H30	R1		
農作物	9		4		3		7		8
家畜	0		0		0		0		0
蚕	0		0		0		0		0
魚類	3		7		13		5		7
その他	0		0		0		0		0
計	12		11		16		12		15

(参考) 蜜蜂の被害(別の調査で実施※1)

被害対象	年度		H27	H28	H29	H30	R1			
蜜蜂	-	※2	30	※3、4	33	※3	21	※3	43	※3

※1 農薬が原因の可能性のある蜜蜂被害事例については、都道府県による蜜蜂被害軽減対策の検証結果とあわせて別途公表している。
 (https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_mitubati/honeybee.html)

※2 平成25年度から27年度までは、農林水産省が別途詳細な全国被害調査を実施。

※3 発生した被害件数のうち、都道府県が「被害の原因が、農薬以外の可能性が高いと考えられる」と判断したものを除いた件数。

※4 平成28年7月7日から平成29年3月31日まで